

# AX6700S AX6600S AX6300S

AX6700S・AX6600S・AX6300S

ソフトウェアマニュアル訂正資料

(Ver. 11.7 対応版)

## ■ はじめに

本資料は、AX6700S・AX6600S・AX6300S ソフトウェアマニュアル (All Rights Reserved, Copyright (C), 2006, 2012, ALAXALA Networks, Corp.) の訂正内容について説明するものです。本装置のマニュアルを読む場合は、この資料もあわせてお読み下さい。本資料の対象となるマニュアル一覧を以下に示します。

項番	マニュアル名称	マニュアル番号	発行
1	AX6700S・AX6600S・AX6300S ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションガイド Vol.1 (Ver. 11.7 対応版)	AX63S-S001-C0	2012年1月
2	AX6700S・AX6600S・AX6300S ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションガイド Vol.2 (Ver. 11.7 対応版)	AX63S-S002-C0	2012年1月
3	AX6700S・AX6600S・AX6300S ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションガイド Vol.3 (Ver. 11.7 対応版)	AX63S-S003-C0	2012年1月
4	AX6700S・AX6600S・AX6300S ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1 (Ver. 11.7 対応版)	AX63S-S004-C0	2012年1月
5	AX6700S・AX6600S・AX6300S ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 (Ver. 11.7 対応版)	AX63S-S010-30	2012年1月
6	AX6700S・AX6600S・AX6300S ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.3 (Ver. 11.7 対応版)	AX63S-S005-C0	2012年1月
7	AX6700S・AX6600S・AX6300S ソフトウェアマニュアル 運用コマンドレファレンス Vol.1 (Ver. 11.7 対応版)	AX63S-S006-C0	2012年1月
8	AX6700S・AX6600S・AX6300S ソフトウェアマニュアル 運用コマンドレファレンス Vol.2 (Ver. 11.7 対応版)	AX63S-S011-30	2012年1月
9	AX6700S・AX6600S・AX6300S ソフトウェアマニュアル 運用コマンドレファレンス Vol.3 (Ver. 11.7 対応版)	AX63S-S007-C0	2012年1月
10	AX6700S・AX6600S・AX6300S ソフトウェアマニュアル メッセージ・ログレファレンス (Ver. 11.7 対応版)	AX63S-S008-C0	2012年1月
11	AX6700S・AX6600S・AX6300S ソフトウェアマニュアル MIB レファレンス (Ver. 11.7 対応版)	AX63S-S009-C0	2012年1月

## ■ 商標一覧

Cisco は、米国 Cisco Systems, Inc. の米国および他の国々における登録商標です。

Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

IPX は、Novell, Inc. の商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Octpower は、日本電気 (株) の登録商標です。

sFlow は、米国およびその他の国における米国 InMon Corp. の登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

VitalQIP, VitalQIP Registration Manager は、Lucent technologies の商標です。

VLANaccessClient は、NEC ソフトの商標です。

VLANaccessController, VLANaccessAgent は、NEC の商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■ご注意

このマニュアル訂正資料は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

■発行

2012年3月23日発行(第2版)

■著作権

All Rights Reserved, Copyright(C), 2006, 2012, ALAXALA Networks, Corp.

## 変更履歴

表 【第2版】に関する訂正内容

項目	追加・変更内容
6. コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.3 (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S005-C0)	[15] ip pim max-interface 【訂正】
	[15] ip pim mcache-limit 【訂正】
	[15] ip pim mroute-limit 【訂正】
	[29] ipv6 pim max-interface 【訂正】
	[29] ipv6 pim mcache-limit 【訂正】
	[29] ipv6 pim mroute-limit 【訂正】
11. MIB レファレンス (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S009-C0)	3.1.2 axsQoS グループ 【追加】
	付録A.1 プライベート MIB 【追加】

## 目 次

1. コンフィグレーションガイド Vol.1 (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S001-C0) の訂正内容.....	6
2. コンフィグレーションガイド Vol.2 (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S002-C0) の訂正内容.....	7
3. コンフィグレーションガイド Vol.3 (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S003-C0) の訂正内容.....	8
4. コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1 (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S004-C0) の訂正内容.....	9
5. コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S010-30) の訂正内容 .....	9
6. コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.3 (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S005-C0) の訂正内容.....	10
7. 運用コマンドレファレンス Vol.1 (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S006-C0) の訂正内容 .....	17
8. 運用コマンドレファレンス Vol.2 (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S011-30) の訂正内容.....	17
9. 運用コマンドレファレンス Vol.3 (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S007-C0) の訂正内容 .....	17
10. メッセージ・ログレファレンス (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S008-C0) の訂正内容.....	17
11. MIBレファレンス (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S009-C0) の訂正内容 .....	18

# 1. コンフィグレーションガイド Vol. 1 (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S001-C0) の訂正内容

## 3. 収容条件 (P23~P154)

### (1) 3.2.1 テーブルエントリ数 【削除】

「表 3-11 extended の経路系テーブルエントリ数 (P27)」の脚注の一部を削除します。

#### 【削除】

- RIP バージョン 2 を使用する場合は 1 経路が加算されます。  
VRF で RIP バージョン 2 を使用する場合は、VRF ごとに 1 経路が加算されます。
- OSPF を使用する場合は 2 経路が加算されます。  
VRF で OSPF を使用する場合は、VRF ごとに 2 経路が加算されます。

### (2) 3.4.1 テーブルエントリ数 【削除】

「表 3-118 extended の経路系テーブルエントリ数 (P70)」の脚注の一部を削除します。

#### 【削除】

- RIP バージョン 2 を使用する場合は 1 経路が加算されます。  
VRF で RIP バージョン 2 を使用する場合は、VRF ごとに 1 経路が加算されます。
- OSPF を使用する場合は 2 経路が加算されます。  
VRF で OSPF を使用する場合は、VRF ごとに 2 経路が加算されます。

### (3) 3.6.1 テーブルエントリ数 【削除】

「表 3-225 extended の経路系テーブルエントリ数 (P115)」の脚注の一部を削除します。

#### 【削除】

- RIP バージョン 2 を使用する場合は 1 経路が加算されます。  
VRF で RIP バージョン 2 を使用する場合は、VRF ごとに 1 経路が加算されます。
- OSPF を使用する場合は 2 経路が加算されます。  
VRF で OSPF を使用する場合は、VRF ごとに 2 経路が加算されます。

## 2. **コンフィグレーションガイド Vol.2 (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S002-C0) の訂正内容**

訂正する内容はあります。

### 3. コンフィグレーションガイド Vol. 3 (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S003-C0) の訂正内容

#### 14. IPv4 マルチキャストの解説 (P319~P373)

##### (1) 14. 6. 1 IPv4 マルチキャスト中継【訂正】

「(2) PIM-SM の使用 (g) 系切替時の通信無停止対応機能での IPv4 マルチキャスト中継エントリ再学習時の注意事項 (P362~P363)」を訂正します。

##### 【訂正内容】

系切替時の通信無停止対応機能を使用している場合に、IPv4 マルチキャスト中継エントリを再学習するときの注意事項を次に示します。なお、各注意事項は IPv4 マルチキャスト中継エントリの再学習時間終了後 (系切替から 450 秒後) に解消されます。

- 系切替するルータおよび近隣ルータでは、使用するユニキャストルーティングプロトコルのグレースフル・リスタートを有効にしてください。グレースフル・リスタートが無効な場合、系切替の直後は PIM メッセージが正しく送受信されないため、マルチキャスト中継が一時的に中断するおそれがあります。
- 系切替するルータの近隣ルータには、Generation ID オプションをサポート (RFC4601 および draft-ietf-pim-sm-bsr-07 に準拠) している装置を設置してください。近隣ルータが Generation ID オプションをサポートしていない場合、系切替の直後に PIM メッセージが正しく送受信されないため、マルチキャスト中継が一時的に中断するおそれがあります。なお、Generation ID オプションについては「14.4.2 IPv4 PIM-SM」の「(3) 近隣検出」を参照してください。

**追加** { また、系切替中は近隣ルータに本装置との近隣状態を維持させるため、Hello メッセージの送信間隔を 30 秒以上に設定してください (デフォルトは 30 秒です)。

- 再学習時間内は次の場合にパケットロスが発生することがあります。
  - ・中継対象のマルチキャスト中継エントリの下流インタフェースに、カプセル化インタフェースが含まれている場合  
ランデブーポイント情報を学習するまで、カプセル化インタフェースへの中継が止まります。
  - ・ランデブーポイント経由の中継が最短パス経由の中継に遷移している途中で系切替した場合
  - ・ランデブーポイントを系切替したときに、新たなグループ参加要求を受信した場合
  - ・中継対象のマルチキャスト中継エントリの上流インタフェースが変更された場合

<以降、省略>

#### **4. コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol. 1 (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S004-C0) の訂正内容**

訂正する内容はあります。

#### **5. コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol. 2 (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S010-30) の訂正内容**

訂正する内容はあります。

## 6. コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol. 3 (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S005-C0) の訂正内容

### 15. IPv4 マルチキャストルーティングプロトコル情報 (P355~P408)

#### (1) ip pim max-interface 【訂正】

「機能説明 (P379)」を訂正します。

##### 【訂正前】

IPv4 の PIM および IGMP を動作させるインタフェースの最大数を指定し、メモリ効率を調整します。

##### 【訂正後】

IPv4 の PIM または IGMP を動作させるインタフェースの最大数を指定し、メモリ効率を調整します。

「パラメータ (P379)」を訂正します。[Ver. 11.7.A 以降]

##### 【訂正前】

<number>

<途中省略>

1. 本パラメータ省略時の初期値  
省略できません
2. 値の設定範囲

##### AX6700S の場合

装置当たり、IPv4 の PIM、および IGMP を動作させるインタフェースの最大数の設定範囲は BSU 種別によって異なります。

BSU 種別での IPv4 の PIM、および IGMP を動作させるインタフェースの最大数の設定範囲を次の表に示します。

表 15-2 BSU 種別での IPv4 PIM/IGMP 動作可能インタフェースの最大数の設定範囲

BSU 種別	値の設定範囲
BSU-LA	32, 64, 128
BSU-LB	32, 64, 128, 256

##### AX6600S の場合

装置当たり、IPv4 の PIM、および IGMP を動作させるインタフェースの最大数の設定範囲は CSU 種別によって異なります。

CSU 種別での IPv4 の PIM、および IGMP を動作させるインタフェースの最大数の設定範囲を次の表に示します。

<途中省略>

##### AX6300S の場合

装置当たり、IPv4 の PIM、および IGMP を動作させるインタフェースの最大数の設定範囲は MSU 種別によって異なります。

MSU 種別での IPv4 の PIM、および IGMP を動作させるインタフェースの最大数の設定範囲を次の表に示します。

<以降省略>

## 【訂正後】

<number>

<途中省略>

1. 本パラメータ省略時の初期値省略できません
2. 値の設定範囲

**AX6700S の場合**

装置当たり、IPv4 の PIM、または IGMP を動作させるインタフェースの最大数の設定範囲は 32, 64, 128, 256 です。

ただし、IPv4 の PIM、または IGMP を動作させるインタフェース数は実装した BSU の収容条件内で使用してください。

**AX6600S の場合**

装置当たり、IPv4 の PIM、または IGMP を動作させるインタフェースの最大数の設定範囲は CSU 種別によって異なります。

CSU 種別での IPv4 の PIM、または IGMP を動作させるインタフェースの最大数の設定範囲を次の表に示します。

<途中省略>

**AX6300S の場合**

装置当たり、IPv4 の PIM、または IGMP を動作させるインタフェースの最大数の設定範囲は MSU 種別によって異なります。

MSU 種別での IPv4 の PIM、または IGMP を動作させるインタフェースの最大数の設定範囲を次の表に示します。

<以降省略>

「コマンド省略時の動作 (P380)」を訂正します。[Ver. 11. 7. A 以降]

## 【訂正前】

**AX6700S の場合**

IP マルチキャストを動作させるインタフェースの最大数は、BSU 種別が BSU-LA の場合は 128, BSU-LB の場合は 256 となります。

**AX6600S の場合**

IP マルチキャストを動作させるインタフェースの最大数は、CSU 種別が CSU-1A の場合は 128, CSU-1B の場合は 256 となります。

**AX6300S の場合**

IP マルチキャストを動作させるインタフェースの最大数は、MSU 種別が MSU-1A, MSU-1A1 の場合は 128, MSU-1B, MSU-1B1 の場合は 256 となります。

## 【訂正後】

**AX6700S の場合**

IPv4 の PIM、または IGMP を動作させるインタフェースの最大数は 256 です。

ただし、IPv4 の PIM、または IGMP を動作させるインタフェース数は実装した BSU の収容条件内で使用してください。

**AX6600S の場合**

IPv4 の PIM、または IGMP を動作させるインタフェースの最大数は、CSU 種別が CSU-1A の場合は 128, CSU-1B の場合は 256 となります。

**AX6300S の場合**

IPv4 の PIM、または IGMP を動作させるインタフェースの最大数は、MSU 種別が MSU-1A, MSU-1A1 の場合は 128, MSU-1B, MSU-1B1 の場合は 256 となります。

**(2) ip pim mcache-limit 【訂正】**

「パラメータ (P381)」を訂正します。[Ver. 11.7.A 以降]

**【訂正前】**

<number>

<途中省略>

1. 本パラメータ省略時の初期値  
省略できません
2. 値の設定範囲

**AX6700S の場合**

装置当たり、IPv4 PIM-SM/SSM マルチキャスト中継エントリとネガティブキャッシュエントリを合計した最大数の設定範囲は、BSU 種別によって異なります。

BSU 種別での IPv4 PIM-SM/SSM マルチキャスト中継エントリとネガティブキャッシュエントリを合計した最大数の設定範囲を次の表に示します。

表 15-5 BSU 種別での IPv4 PIM-SM/SSM マルチキャストルーティングエントリの最大数の設定範囲

BSU 種別	値の設定範囲
BSU-LA	0~4000
BSU-LB	0~8000

**【訂正後】**

<number>

<途中省略>

1. 本パラメータ省略時の初期値  
省略できません
2. 値の設定範囲

**AX6700S の場合**

装置当たり、IPv4 PIM-SM/SSM マルチキャスト中継エントリとネガティブキャッシュエントリを合計した最大数の設定範囲は 0~8000 です。

ただし、実装した BSU の収容条件内で設定してください。

**(3) ip pim mroute-limit 【訂正】**

「パラメータ (P385)」を訂正します。[Ver. 11.7.A 以降]

**【訂正前】**

<number>

<途中省略>

1. 本パラメータ省略時の初期値  
省略できません
2. 値の設定範囲

**AX6700S の場合**

装置当たり、PIM-SM/SSM マルチキャストルーティングエントリの最大数の設定範囲は BSU 種別によって異なります。

BSU 種別での PIM-SM/SSM マルチキャストルーティングエントリの最大数の設定範囲を次の表に示します。

表 15-8 BSU 種別での PIM-SM/SSM マルチキャストルーティングエントリの最大数の設定範囲

BSU 種別	値の設定範囲
BSU-LA	0～4000
BSU-LB	0～8000

**【訂正後】**

<number>

<途中省略>

1. 本パラメータ省略時の初期値  
省略できません
2. 値の設定範囲

**AX6700S の場合**

装置当たり、PIM-SM/SSM マルチキャストルーティングエントリの最大数の設定範囲は 0～8000 です。

ただし、実装した BSU の収容条件内で設定してください。

## 29. IPv6 マルチキャストルーティングプロトコル情報 (P537~P591)

### (1) ipv6 pim max-interface 【訂正】

「パラメータ (P571)」を訂正します。[Ver. 11.7.A 以降]

#### 【訂正前】

<number>

<途中省略>

1. 本パラメータ省略時の初期値  
省略できません
2. 値の設定範囲

#### AX6700S の場合

装置当たり, IPv6 の PIM または MLD を動作させるインタフェースの最大数の設定範囲は BSU 種別によって異なります。

BSU 種別での IPv6 の PIM または MLD を動作させるインタフェースの最大数の設定範囲を次の表に示します。

表 29-5 BSU 種別での IPv6 PIM/MLD 動作可能インタフェースの最大数の設定範囲

BSU 種別	値の設定範囲
BSU-LA	32, 64, 128
BSU-LB	32, 64, 128, 256

#### 【訂正後】

<number>

<途中省略>

1. 本パラメータ省略時の初期値  
省略できません
2. 値の設定範囲

#### AX6700S の場合

装置当たり, IPv6 の PIM または MLD を動作させるインタフェースの最大数の設定範囲は 32, 64, 128, 256 になります。

ただし, IPv6 の PIM または MLD を動作させるインタフェース数は実装した BSU の収容条件内で使用してください。

「コマンド省略時の動作 (P572)」を訂正します。

#### 【訂正前】

#### AX6700S の場合

IPv6 の PIM または MLD を動作させるインタフェースの最大数は, BSU 種別が BSU-LA の場合は 128, BSU-LB の場合は 256 となります。

#### 【訂正後】

#### AX6700S の場合

IPv6 の PIM または MLD を動作させるインタフェースの最大数は 256 です。

ただし, IPv6 の PIM または MLD を動作させるインタフェース数は実装した BSU の収容条件内で使用してください。

## (2) *ipv6 pim mcache-limit* 【訂正】

「パラメータ (P573)」を訂正します。[Ver. 11.7.A 以降]

### 【訂正前】

<number>

<途中省略>

1. 本パラメータ省略時の初期値  
省略できません
2. 値の設定範囲

#### AX6700S の場合

装置当たり、IPv6 PIM-SM/SSM マルチキャスト中継エン트리とネガティブキャッシュエント리를合計した最大数の設定範囲は、BSU 種別によって異なります。

BSU 種別での IPv6 PIM-SM/SSM マルチキャスト中継エン트리とネガティブキャッシュエント리를合計した最大数の設定範囲を次の表に示します。

表 29-8 BSU 種別での IPv6 PIM-SM/SSM マルチキャストルーティングエント리의最大数の設定範囲

BSU 種別	値の設定範囲
BSU-LA	0~1000
BSU-LB	0~8000

### 【訂正後】

<number>

<途中省略>

1. 本パラメータ省略時の初期値  
省略できません
2. 値の設定範囲

#### AX6700S の場合

装置当たり、IPv6 PIM-SM/SSM マルチキャスト中継エン트리とネガティブキャッシュエント리를合計した最大数の設定範囲は 0~8000 です。

ただし、実装した BSU の収容条件内で設定してください。

**(3) ipv6 pim mroute-limit 【訂正】**

「パラメータ (P575)」を訂正します。[Ver. 11.7.A 以降]

**【訂正前】**

<number>

<途中省略>

1. 本パラメータ省略時の初期値  
省略できません
2. 値の設定範囲

**AX6700S の場合**

装置当たり、IPv6 PIM-SM/SSM マルチキャストルーティングエントリの最大数の設定範囲は BSU 種別によって異なります。

BSU 種別での IPv6 PIM-SM/SSM マルチキャストルーティングエントリの最大数の設定範囲を次の表に示します。

表 29-11 BSU 種別での IPv6 PIM-SM/SSM マルチキャストルーティングエントリの最大数の設定範囲

BSU 種別	値の設定範囲
BSU-LA	0~1000
BSU-LB	0~8000

**【訂正後】**

<number>

<途中省略>

1. 本パラメータ省略時の初期値  
省略できません
2. 値の設定範囲

**AX6700S の場合**

装置当たり、IPv6 PIM-SM/SSM マルチキャストルーティングエントリの最大数の設定範囲は 0~8000 です。

ただし、実装した BSU の収容条件内で設定してください。

## **7. 運用コマンドレファレンス Vol. 1 (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S006-C0) の訂正内容**

訂正する内容はあります。

## **8. 運用コマンドレファレンス Vol. 2 (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S011-30) の訂正内容**

訂正する内容はあります。

## **9. 運用コマンドレファレンス Vol. 3 (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S007-C0) の訂正内容**

訂正する内容はあります。

## **10. メッセージ・ログレファレンス (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S008-C0) の訂正内容**

訂正する内容はあります。

## 11. MIBレファレンス (Ver. 11.7 対応版) (AX63S-S009-C0) の訂正内容

### 3. プライベートMIB (P175~P332)

#### (1) 3.1.2 axsQoSグループ【追加】

「(3)axsEtherRxQoS グループ (P183)」を追加します。[Ver. 11.7. A 以降]

#### 【追加】

#### (3) axsEtherRxQoS グループ

##### (a) 識別子

axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}

axsQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 6}

axsEtherRxQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axsQoS 1}  
オブジェクト ID 値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.7

##### (b) 実装仕様

axsEtherRxQoS グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-4 axsEtherRxQoS グループの実装仕様 (イーサネットインタフェースの QoS 統計情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsEtherRxQoSStatsTable {axsEtherRxQoS 1}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	QoS 統計情報のポート受信キューのテーブル情報。	●
2	axsEtherRxQoSStatsEntry {axsEtherRxQoSStatsTable 1}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	イーサネットインタフェース毎の QoS 統計情報に関するエントリ。 [index] {axsEtherRxQoSStatsIndex}	●
3	axsEtherRxQoSStatsIndex {axsEtherRxQoSStatsEntry 1}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (イーサネットインタフェースの ifIndex 値) を示します。 1~ifNumber までの値。	●
4	axsEtherRxQoSStatsMaxQ num {axsEtherRxQoSStatsEntry 2}	INTEGER	R/O	該当インタフェースのポート受信キューのキュー数の最大値を示します。	●
5	axsEtherRxQoSStatsLimit Qlen {axsEtherRxQoSStatsEntry 3}	INTEGER	R/O	該当インタフェースのポート受信キューの出力優先度キュー長の限界値を示します。	●
6	axsEtherRxQoSStatsTotal OutFrames {axsEtherRxQoSStatsEntry 4}	Counter	R/O	該当インタフェースのポート受信キューの総受信フレーム数を示します。	●

7	axsEtherRxQoSStatsTotal OutBytesHigh {axsEtherRxQoSStatsEntry 5}	Counter	R/O	該当インタフェースのポート受信キューの総受信バイト数(上位 4 バイト)を示します。バイト数に FCS は含みません。	●
8	axsEtherRxQoSStatsTotal OutBytesLow {axsEtherRxQoSStatsEntry 6}	Counter	R/O	該当インタフェースのポート受信キューの総受信バイト数(下位 4 バイト)を示します。バイト数に FCS は含みません。	●
9	axsEtherRxQoSStatsTotal DiscardFrames {axsEtherRxQoSStatsEntry 7}	Counter	R/O	該当インタフェースのポート受信キューの総廃棄フレーム数を示します。	●
10	axsEtherRxQoSStatsQueue Table {axsEtherRxQoS 2}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	該当インタフェースのポート受信キューの出力優先度キューごとの QoS 統計情報のテーブル情報。	●
11	axsEtherRxQoSStatsQueue Entry {axsEtherRxQoSStatsQueue Entry 1}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	該当インタフェースのポート受信キューの出力優先度キューごとの QoS 統計情報に関するエントリ。 [index] {axsEtherRxQoSStatsQueueIndex, axsEtherRxQoSStatsQueueQueIndex}	●
12	axsEtherRxQoSStatsQueue Index {axsEtherRxQoSStatsQueue Entry 1}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (イーサネットインタフェースの ifIndex 値) を示します。 1~ifNumber までの値。	●
13	axsEtherRxQoSStatsQueue QueIndex {axsEtherRxQoSStatsQueue Entry 2}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値を示します。 1~ axsEtherRxQoSStatsMaxQnum までの値。	●
14	axsEtherRxQoSStatsQueue Qlen {axsEtherRxQoSStatsQueue Entry 3}	INTEGER	R/O	情報採取時のポート受信キューの出力優先度キュー長を示します。 ※1	●
15	axsEtherRxQoSStatsQueue MaxQlen {axsEtherRxQoSStatsQueue Entry 4}	INTEGER	R/O	この統計情報を消去もしくは初期化してからの該当インタフェースのポート受信キューの最大の出力優先度キュー長を示します。 ※1	●
16	axsEtherRxQoSStatsQueue DiscardFramesClass1 {axsEtherRxQoSStatsQueue Entry 5}	Counter64	R/O	ポート受信キューの該当出力優先度キューの廃棄クラス 1 での廃棄フレーム数を示します。 ※1	●
17	axsEtherRxQoSStatsQueue DiscardFramesClass2 {axsEtherRxQoSStatsQueue Entry 6}	Counter64	R/O	ポート受信キューの該当出力優先度キューの廃棄クラス 2 での廃棄フレーム数を示します。 ※1	●

注※1 以下の NIF 種別の場合は 0 になります。  
AX6300S の場合 : NH10G-1RX

「(4)axsEtherDistributionTxQoS グループ (P183)」を追加します。[Ver. 11.7.A以降]

【追加】

(4) axsEtherDistributionTxQoS グループ

(a) 識別子

axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}

axsQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 6}

axsEtherDistributionTxQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axsQoS 1}

オブジェクト ID 値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8

(b) 実装仕様

axsEtherDistributionTxQoS グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-5 axsEtherDistributionTxQoS グループの実装仕様（イーサネットインタフェースの QoS 統計情報）

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsEtherDistributionTxQoSStatsTable {axsEtherDistributionTxQoS 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	QoS 統計情報のディストリビューション送信キューのテーブル情報。 ※1	●
2	axsEtherDistributionTxQoSStatsEntry {axsEtherDistributionTxQoSStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ディストリビューション送信キューの QoS 統計情報に関するエントリ。 [index] {axsEtherDistributionTxQoSStatsIndex, axsEtherDistributionTxQoSStatsIfIndex}	●
3	axsEtherDistributionTxQoSStatsIndex {axsEtherDistributionTxQoSStatsEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	取得対象のディストリビューション送信キューが存在する部位内の番号を示します。 ・AX6700S の場合：BSU 番号(1~3) ・AX6600S の場合：CSU 番号(1~2) ・AX6300S の場合：1 固定	●
4	axsEtherDistributionTxQoSStatsIfIndex {axsEtherDistributionTxQoSStatsEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値（イーサネットインタフェースの ifIndex 値）を示します。 1~ifNumber までの値。	●
5	axsEtherDistributionTxQoS1StatsMaxQnum {axsEtherDistributionTxQoSStatsEntry 3}	INTEGER	R/O	該当インタフェースのディストリビューション送信キュー 1 のキュー数の最大値を示します。	●
6	axsEtherDistributionTxQoS1StatsLimitQlen {axsEtherDistributionTxQoSStatsEntry 4}	INTEGER	R/O	該当インタフェースのディストリビューション送信キュー 1 の出力優先度キュー長の限界値を示します。	●
7	axsEtherDistributionTxQoS1StatsTotalOutFrames {axsEtherDistributionTxQoSStatsEntry 5}	Counter	R/O	該当インタフェースのディストリビューション送信キュー 1 の総送信フレーム数を示します。	●

8	axsEtherDistributionTxQoS1StatsTotalOutBytesHigh {axsEtherDistributionTxQoSStatsEntry 6}	Counter	R/O	該当インタフェースのディストリビューション送信キュー1の総送信バイト数(上位4バイト)を示します。バイト数にFCSは含みません。	●
9	axsEtherDistributionTxQoS1StatsTotalOutBytesLow {axsEtherDistributionTxQoSStatsEntry 7}	Counter	R/O	該当インタフェースのディストリビューション送信キュー1の総送信バイト数(下位4バイト)を示します。バイト数にFCSは含みません。	●
10	axsEtherDistributionTxQoS1StatsTotalDiscardFrames {axsEtherDistributionTxQoSStatsEntry 8}	Counter	R/O	該当インタフェースのディストリビューション送信キュー1の総廃棄フレーム数を示します。	●
11	axsEtherDistributionTxQoS2StatsMaxQnum {axsEtherDistributionTxQoSStatsEntry 9}	INTEGER	R/O	該当インタフェースのディストリビューション送信キュー2のキュー数の最大値を示します。 ※2	●
12	axsEtherDistributionTxQoS2StatsLimitQlen {axsEtherDistributionTxQoSStatsEntry 10}	INTEGER	R/O	該当インタフェースのディストリビューション送信キュー2の出力優先度キュー長の限界値を示します。 ※2	●
13	axsEtherDistributionTxQoS2StatsTotalOutFrames {axsEtherDistributionTxQoSStatsEntry 11}	Counter	R/O	該当インタフェースのディストリビューション送信キュー2の総送信フレーム数を示します。 ※2	●
14	axsEtherDistributionTxQoS2StatsTotalOutBytesHigh {axsEtherDistributionTxQoSStatsEntry 12}	Counter	R/O	該当インタフェースのディストリビューション送信キュー2の総送信バイト数(上位4バイト)を示します。バイト数にFCSは含みません。 ※2	●
15	axsEtherDistributionTxQoS2StatsTotalOutBytesLow {axsEtherDistributionTxQoSStatsEntry 13}	Counter	R/O	該当インタフェースのディストリビューション送信キュー2の総送信バイト数(下位4バイト)を示します。バイト数にFCSは含みません。 ※2	●
16	axsEtherDistributionTxQoS2StatsTotalDiscardFrames {axsEtherDistributionTxQoSStatsEntry 14}	Counter	R/O	該当インタフェースのディストリビューション送信キュー2の総廃棄フレーム数を示します。 ※2	●
17	axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueTable {axsEtherDistributionTxQoS2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	該当インタフェースのディストリビューション送信キュー1の出力優先度キューごとのQoS統計情報のテーブル情報。	●
18	axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueEntry {axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	該当インタフェースのディストリビューション送信キュー1の出力優先度キューごとのQoS統計情報に関するエントリ。 [index] {axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueIndex, axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueIfIndex, axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueQueueIndex}	●

19	axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueIndex {axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueEntry 1}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	取得対象のディストリビューション送信キュー1が存在する部位内の番号を示します。 ・AX6700Sの場合：BSU番号(1~3) ・AX6600Sの場合：CSU番号(1~2) ・AX6300Sの場合：1固定	●
20	axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueIfIndex {axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueEntry 2}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値（イーサネットインタフェースのifIndex値）を示します。 1~ifNumberまでの値。	●
21	axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueQueueIndex {axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueEntry 3}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値を示します。 1~ axsEtherDistributionTxQoS1StatsMaxQnumまでの値。	●
22	axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueQlen {axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueEntry 4}	INTEGER	R/O	情報採取時のディストリビューション送信キュー1の出力優先度キュー長を示します。	●
23	axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueMaxQlen {axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueEntry 5}	INTEGER	R/O	この統計情報を消去もしくは初期化してからの該当インタフェースのディストリビューション送信キュー1の最大の出力優先度キュー長を示します。	●
24	axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueDiscardFramesClass1 {axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueEntry 6}	Counter64	R/O	ディストリビューション送信キュー1の該当出力優先度キューの廃棄クラス1での廃棄フレーム数を示します。	●
25	axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueDiscardFramesClass2 {axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueEntry 7}	Counter64	R/O	ディストリビューション送信キュー1の該当出力優先度キューの廃棄クラス2での廃棄フレーム数を示します。	●
26	axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueDiscardFramesClass3 {axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueEntry 8}	Counter64	R/O	ディストリビューション送信キュー1の該当出力優先度キューの廃棄クラス3での廃棄フレーム数を示します。	●
27	axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueDiscardFramesClass4 {axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueEntry 9}	Counter64	R/O	ディストリビューション送信キュー1の該当出力優先度キューの廃棄クラス4での廃棄フレーム数を示します。	●
28	axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueTable {axsEtherDistributionTxQoS3}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	該当インタフェースのディストリビューション送信キュー2の出力優先度キューごとのQoS統計情報のテーブル情報。	●

29	axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueEntry {axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	該当インタフェースのディストリビューション送信キュー2の出力優先度キューごとのQoS統計情報に関するエントリ。 [index] {axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueIndex, axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueIfIndex, axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueQueueIndex}	●
30	axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueIndex {axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	取得対象のディストリビューション送信キュー2が存在する部位内の番号を示します。 ・AX6700Sの場合：BSU番号(1~3) ・AX6600Sの場合：CSU番号(1~2) ・AX6300Sの場合：1固定	●
31	axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueIfIndex {axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値（イーサネットインタフェースのifIndex値）を示します。 1~ifNumberまでの値。	●
32	axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueQueueIndex {axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueEntry 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値を示します。 1~ axsEtherDistributionTxQoS2StatsMaximumQnumまでの値。	●
33	axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueQlen {axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueEntry 4}	INTEGER	R/O	情報採取時のディストリビューション送信キュー2の出力優先度キュー長を示します。 ※2	●
34	axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueMaxQlen {axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueEntry 5}	INTEGER	R/O	この統計情報を消去もしくは初期化してからの該当インタフェースのディストリビューション送信キュー2の最大の出力優先度キュー長を示します。 ※2	●
35	axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueDiscardFramesClass1 {axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueEntry 6}	Counter64	R/O	ディストリビューション送信キューの該当出力優先度キュー2の廃棄クラス1での廃棄フレーム数を示します。 ※2	●
36	axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueDiscardFramesClass2 {axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueEntry 7}	Counter64	R/O	ディストリビューション送信キュー2の該当出力優先度キューの廃棄クラス2での廃棄フレーム数を示します。 ※2	●
37	axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueDiscardFramesClass3 {axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueEntry 8}	Counter64	R/O	ディストリビューション送信キュー2の該当出力優先度キューの廃棄クラス3での廃棄フレーム数を示します。 ※2	●
38	axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueDiscardFramesClass4 {axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueEntry 9}	Counter64	R/O	ディストリビューション送信キュー2の該当出力優先度キューの廃棄クラス4での廃棄フレーム数を示します。 ※2	●

- 注※1 以下の NIF 種別が採取対象になります。  
 AX6300S の場合：NH1GS-6M 及び NH10G-1RX 以外  
 AX6600S および AX6700S の場合：全 NIF  
 注※2 AX6300S および AX6600S の場合：0 固定

「(5)axsEtherDistributionRxQoS グループ (P183)」を追加します。[Ver. 11.7.A 以降]

【追加】

(5) axsEtherDistributionRxQoS グループ

(a) 識別子

axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}

axsQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 6}

axsEtherDistributionRxQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axsQoS 1}  
 オブジェクト ID 値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9

(b) 実装仕様

axsEtherDistributionRxQoS グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-6 axsEtherDistributionRxQoS グループの実装仕様(イーサネットインタフェースの QoS 統計情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsEtherDistributionRxQoSStatsTable {axsEtherDistributionRxQoS 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	QoS 統計情報のディストリビューション受信キューテーブル情報 ※1	●
2	axsEtherDistributionRxQoSStatsEntry {axsEtherDistributionRxQoSStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ディストリビューション受信キューの QoS 統計情報に関するエントリ。 [index] { axsEtherDistributionRxQoSStatsIndex, axsEtherDistributionRxQoSStatsIfIndex }	●
3	axsEtherDistributionRxQoSStatsIndex {axsEtherDistributionRxQoSStatsEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	取得対象のディストリビューション受信キューが存在する部位内の番号を示します。 ・ AX6700S の場合：BSU 番号(1~3) ・ AX6600S の場合：CSU 番号(1~2) ・ AX6300S の場合：1 固定	●
4	axsEtherDistributionRxQoSStatsIfIndex {axsEtherDistributionRxQoSStatsEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (イーサネットインタフェースの ifIndex 値) を示します。 1~ifNumber までの値。	●
5	axsEtherDistributionRxQoSStatsMaxQnum {axsEtherDistributionRxQoSStatsEntry 3}	INTEGER	R/O	該当インタフェースのディストリビューション受信キュー 1 のキュー数の最大値を示します。	●

6	axsEtherDistributionRxQoS1StatsLimitQlen {axsEtherDistributionRxQoSStatsEntry 4}	INTEGER	R/O	該当インタフェースのディストリビューション受信キュー1の出力優先度キュー長の限界値を示します。	●
7	axsEtherDistributionRxQoS1StatsTotalOutFrames {axsEtherDistributionRxQoSStatsEntry 5}	Counter	R/O	該当インタフェースのディストリビューション受信キュー1の総送信フレーム数を示します。	●
8	axsEtherDistributionRxQoS1StatsTotalOutBytesHigh {axsEtherDistributionRxQoSStatsEntry 6}	Counter	R/O	該当インタフェースのディストリビューション受信キュー1の総受信バイト数(上位4バイト)を示します。バイト数にFCSは含みません。	●
9	axsEtherDistributionRxQoS1StatsTotalOutBytesLow {axsEtherDistributionRxQoSStatsEntry 7}	Counter	R/O	該当インタフェースのディストリビューション受信キュー1の総受信バイト数(下位4バイト)を示します。バイト数にFCSは含みません。	●
10	axsEtherDistributionRxQoS1StatsTotalDiscardFrames {axsEtherDistributionRxQoSStatsEntry 8}	Counter	R/O	該当インタフェースのディストリビューション受信キュー1の総廃棄フレーム数を示します。	●
11	axsEtherDistributionRxQoS2StatsMaxQnum {axsEtherDistributionRxQoSStatsEntry 9}	INTEGER	R/O	該当インタフェースのディストリビューション受信キュー2のキュー数の最大値を示します。 ※2	●
12	axsEtherDistributionRxQoS2StatsLimitQlen {axsEtherDistributionRxQoSStatsEntry 10}	INTEGER	R/O	該当インタフェースのディストリビューション受信キュー2の出力優先度キュー長の限界値を示します。 ※2	●
13	axsEtherDistributionRxQoS2StatsTotalOutFrames {axsEtherDistributionRxQoSStatsEntry 11}	Counter	R/O	該当インタフェースのディストリビューション受信キュー2の総受信フレーム数を示します。 ※2	●
14	axsEtherDistributionRxQoS2StatsTotalOutBytesHigh {axsEtherDistributionRxQoSStatsEntry 12}	Counter	R/O	該当インタフェースのディストリビューション受信キュー2の総受信バイト数(上位4バイト)を示します。バイト数にFCSは含みません。 ※2	●
15	axsEtherDistributionRxQoS2StatsTotalOutBytesLow {axsEtherDistributionRxQoSStatsEntry 13}	Counter	R/O	該当インタフェースのディストリビューション受信キュー2の総受信バイト数(下位4バイト)を示します。バイト数にFCSは含みません。 ※2	●
16	axsEtherDistributionRxQoS2StatsTotalDiscardFrames {axsEtherDistributionRxQoSStatsEntry 14}	Counter	R/O	該当インタフェースのディストリビューション受信キュー2の総廃棄フレーム数を示します。 ※2	●
17	axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueTable {axsEtherDistributionRxQoS2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	該当インタフェースのディストリビューション受信キュー1の出力優先度キューごとのQoS統計情報のテーブル情報。	●

18	axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueEntry {axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueTable 1}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	該当インタフェースのディストリビューション受信キュー1の出力優先度キューごとのQoS統計情報に関するエントリ。 [index] { axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueIndex, axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueIfIndex, axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueQueueIndex}	●
19	axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueIndex {axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueEntry 1}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	取得対象のディストリビューション受信キュー1が存在する部位内の番号を示します。 ・AX6700Sの場合：BSU番号(1~3) ・AX6600Sの場合：CSU番号(1~2) ・AX6300Sの場合：1固定	●
20	axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueIfIndex {axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueEntry 2}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値（イーサネットインタフェースのifIndex値）を示します。 1~ifNumberまでの値。	●
21	axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueQueueIndex {axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueEntry 3}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値を示します。 1~ axsEtherDistributionRxQoS1StatsMaximumQnumまでの値。	●
22	axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueQlen {axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueEntry 4}	INTEGER	R/O	情報採取時のディストリビューション受信キュー1の出力優先度キュー長を示します。	●
23	axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueMaxQlen {axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueEntry 5}	INTEGER	R/O	この統計情報を消去もしくは初期化してからの該当インタフェースのディストリビューション受信キュー1の最大の出力優先度キュー長を示します。	●
24	axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueTable { axsEtherDistributionRxQoS 3}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	該当インタフェースのディストリビューション受信キュー2の出力優先度キューごとのQoS統計情報のテーブル情報。	●
25	axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueEntry {axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueTable 1}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	該当インタフェースのディストリビューション受信キュー2の出力優先度キューごとのQoS統計情報に関するエントリ。 [index] { axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueIndex, axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueIfIndex, axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueQueueIndex}	●
26	axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueIndex {axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueEntry 1}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	取得対象のディストリビューション受信キュー2が存在する部位内の番号を示します。 ・AX6700Sの場合：BSU番号(1~3) ・AX6600Sの場合：CSU番号(1~2) ・AX6300Sの場合：1固定	●

27	axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueIfIndex {axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueEntry 2}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値（イーサネットインタフェースの ifIndex 値）を示します。 1~ifNumber までの値。	●
28	axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueQueueIndex {axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueEntry 3}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値を示します。 1~ axsEtherDistributionRxQoS2StatsMaximumQnum までの値。	●
29	axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueQlen {axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueEntry 4}	INTEGER	R/O	情報採取時のディストリビューション受信キュー 2 の出力優先度キュー長を示します。 ※2	●
30	axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueMaxQlen {axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueEntry 5}	INTEGER	R/O	この統計情報を消去もしくは初期化してからの該当インタフェースのディストリビューション受信キュー 2 の最大の出力優先度キュー長を示します。 ※2	●

注※1 以下の NIF 種別が採取対象になります。  
AX6300S の場合：NH1GS-6M 及び NH10G-1RX 以外  
AX6600S および AX6700S の場合：全 NIF

注※2 以下の条件の場合、0 固定になります。  
・ AX6700S かつ BSU の負荷分散方式がポートごとの振り分けの場合  
・ AX6600S および AX6300S の場合

「(6)axsToCpuQoS グループ (P183)」を追加します。[Ver. 11.7.A 以降]

#### 【追加】

#### (6) axsToCpuQoS グループ

##### (a) 識別子

axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}

axsQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 6}

axsToCpuQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axsQoS 11}  
オブジェクト ID 値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11

##### (b) 実装仕様

axsToCpuQoS グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-7 axsToCpuQoS グループの実装仕様（CPU への送信キューの QoS 統計情報）

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsToCpuQoSStatsTable {axsToCpuQoS 1}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	QoS 統計情報の CPU への送信キューのテーブル情報。	●
2	axsToCpuQoSStatsEntry {axsToCpuQoSStatsTable 1}	NOT-ACC ESSIBLE	NA	CPU への送信キューの QoS 統計情報に関するエントリ。 [index] { axsToCpuQoSStatsIndex }	●

3	axsToCpuQoSStatsIndex {axsToCpuQoSStatsEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	取得対象の CPU への送信キューが存在する部位内の番号を示します。 ・ AX6700S の場合：BSU 番号(1~3) ・ AX6600S の場合：CSU 番号(1~2) ・ AX6300S の場合：1 固定	●
4	axsToCpuQoSStatsMaxQnum {axsToCpuQoSStatsEntry 2}	INTEGER	R/O	CPU への送信キューのキュー数の最大値を示します。	●
5	axsToCpuQoSStatsLimitQlen {axsToCpuQoSStatsEntry 3}	INTEGER	R/O	CPU への送信キュー内当該キューの出力優先度キュー長の限界値を示します。 ※ 1	●
6	axsToCpuQoSStatsTotalOutputFrames {axsToCpuQoSStatsEntry 4}	Counter	R/O	CPU への送信キューの総送信フレーム数を示します。	●
7	axsToCpuQoSStatsTotalOutputBytesHigh {axsToCpuQoSStatsEntry 5}	Counter	R/O	CPU への送信キューの総送信バイト数(上位 4 バイト)を示します。バイト数に FCS は含みません。 ・ 0 固定	●
8	axsToCpuQoSStatsTotalOutputBytesLow {axsToCpuQoSStatsEntry 6}	Counter	R/O	CPU への送信キューの総送信バイト数(下位 4 バイト)を示します。バイト数に FCS は含みません。 ・ 0 固定	●
9	axsToCpuQoSStatsTotalDiscardFrames {axsToCpuQoSStatsEntry 7}	Counter	R/O	CPU への送信キューの総廃棄フレーム数を示します。	●
10	axsToCpuQoSStatsQueueTable {axsToCpuQoS 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	CPU への送信キューの出力優先度キューごとの QoS 統計情報のテーブル情報。	●
11	axsToCpuQoSStatsQueueEntry {axsToCpuQoSStatsQueueTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	CPU への送信キューの出力優先度キューごとの QoS 統計情報に関するエントリ。 [index] {axsToCpuQoSStatsQueueIndex, axsToCpuQoSStatsQueueQueueIndex}	●
12	axsToCpuQoSStatsQueueIndex {axsToCpuQoSStatsQueueEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	取得対象の CPU への送信キューが存在する部位内の番号を示します。 ・ AX6700S の場合：BSU 番号(1~3) ・ AX6600S の場合：CSU 番号(1~2) ・ AX6300S の場合：1 固定	●
13	axsToCpuQoSStatsQueueQueueIndex {axsToCpuQoSStatsQueueEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値を示します。 1 ~ axsToCpuQoSStatsMaxQnum までの値。	●
14	axsToCpuQoSStatsQueueQueueLen {axsToCpuQoSStatsQueueEntry 3}	INTEGER	R/O	情報採取時の CPU への送信キューの出力優先度キュー長を示します。	●
15	axsToCpuQoSStatsQueueMaxQlen {axsToCpuQoSStatsQueueEntry 4}	INTEGER	R/O	この統計情報を消去もしくは初期化してからの CPU への送信キュー内当該キューの最大の出力優先度キュー長を示します。	●

16	axsToCpuQoSStatsQueueDiscardFramesClass1 {axsToCpuQoSStatsQueueEntry 5}	Counter64	R/O	CPU への送信キュー内当該キューの該当出力優先度キューの廃棄クラス 1 での廃棄フレーム数を示します。	●
17	axsToCpuQoSStatsQueueDiscardFramesClass2 {axsToCpuQoSStatsQueueEntry 6}	Counter64	R/O	CPU への送信キュー内当該キューの該当出力優先度キューの廃棄クラス 2 での廃棄フレーム数を示します。	●
18	axsToCpuQoSStatsQueueDiscardFramesClass3 {axsToCpuQoSStatsQueueEntry 7}	Counter64	R/O	CPU への送信キュー内当該キューの該当出力優先度キューの廃棄クラス 3 での廃棄フレーム数を示します。	●
19	axsToCpuQoSStatsQueueDiscardFramesClass4 {axsToCpuQoSStatsQueueEntry 8}	Counter64	R/O	CPU への送信キュー内当該キューの該当出力優先度キューの廃棄クラス 4 での廃棄フレーム数を示します。	●

注※ 1 該当 CPU 送信キューの全キュー内での最も大きい最大キュー長を応答します。

## 付録 (P385~P425)

### (1) 付録A.1 プライベートMIB【追加】

「表 A-1 axsStats グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 (P386~P388)」に axsEtherRxQoS グループ, axsEtherDistributionTxQoS グループ, axsEtherDistributionRxQoS グループ, axsToCpuQoS グループを追加します。[Ver. 11.7.A 以降]

#### 【追加】

表 A-1 axsStats グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsEtherRxQoS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.7
axsEtherRxQoSStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.7.1
axsEtherRxQoSStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.7.1.1
axsEtherRxQoSStatsIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.7.1.1.1
axsEtherRxQoSStatsMaxQnum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.7.1.1.2
axsEtherRxQoSStatsLimitQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.7.1.1.3
axsEtherRxQoSStatsTotalOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.7.1.1.4
axsEtherRxQoSStatsTotalOutBytesHigh	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.7.1.1.5
axsEtherRxQoSStatsTotalOutBytesLow	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.7.1.1.6
axsEtherRxQoSStatsTotalDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.7.1.1.7
axsEtherRxQoSStatsQueueTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.7.2
axsEtherRxQoSStatsQueueEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.7.2.1
axsEtherRxQoSStatsQueueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.7.2.1.1
axsEtherRxQoSStatsQueueQueueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.7.2.1.2
axsEtherRxQoSStatsQueueQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.7.2.1.3
axsEtherRxQoSStatsQueueMaxQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.7.2.1.4
axsEtherRxQoSStatsQueueDiscardFramesClass1	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.7.2.1.5
axsEtherRxQoSStatsQueueDiscardFramesClass2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.7.2.1.6
axsEtherDistributionTxQoS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8
axsEtherDistributionTxQoSStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.1
axsEtherDistributionTxQoSStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.1.1
axsEtherDistributionTxQoSStatsIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.1.1.1
axsEtherDistributionTxQoSStatsIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.1.1.2
axsEtherDistributionTxQoS1StatsMaxQnum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.1.1.3
axsEtherDistributionTxQoS1StatsLimitQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.1.1.4
axsEtherDistributionTxQoS1StatsTotalOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.1.1.5
axsEtherDistributionTxQoS1StatsTotalOutBytesHigh	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.1.1.6
axsEtherDistributionTxQoS1StatsTotalOutBytesLow	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.1.1.7
axsEtherDistributionTxQoS1StatsTotalDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.1.1.8
axsEtherDistributionTxQoS2StatsMaxQnum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.1.1.9
axsEtherDistributionTxQoS2StatsLimitQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.1.1.10
axsEtherDistributionTxQoS2StatsTotalOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.1.1.11
axsEtherDistributionTxQoS2StatsTotalOutBytesHigh	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.1.1.12
axsEtherDistributionTxQoS2StatsTotalOutBytesLow	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.1.1.13
axsEtherDistributionTxQoS2StatsTotalDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.1.1.14
axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.2
axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.2.1
axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.2.1.1

axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.2.1.2
axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueQueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.2.1.3
axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.2.1.4
axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueMaxQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.2.1.5
axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueDiscardFrames Class1	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.2.1.6
axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueDiscardFrames Class2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.2.1.7
axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueDiscardFrames Class3	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.2.1.8
axsEtherDistributionTxQoS1StatsQueueDiscardFrames Class4	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.2.1.9
axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.3
axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.3.1
axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.3.1.1
axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.3.1.2
axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueQueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.3.1.3
axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.3.1.4
axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueMaxQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.3.1.5
axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueDiscardFrames Class1	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.3.1.6
axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueDiscardFrames Class2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.3.1.7
axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueDiscardFrames Class3	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.3.1.8
axsEtherDistributionTxQoS2StatsQueueDiscardFrames Class4	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.8.3.1.9
axsEtherDistributionRxQoS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9
axsEtherDistributionRxQoSStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.1
axsEtherDistributionRxQoSStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.1.1
axsEtherDistributionRxQoSStatsIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.1.1.1
axsEtherDistributionRxQoSStatsIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.1.1.2
axsEtherDistributionRxQoS1StatsMaxQnum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.1.1.3
axsEtherDistributionRxQoS1StatsLimitQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.1.1.4
axsEtherDistributionRxQoS1StatsTotalOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.1.1.5
axsEtherDistributionRxQoS1StatsTotalOutBytesHigh	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.1.1.6
axsEtherDistributionRxQoS1StatsTotalOutBytesLow	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.1.1.7
axsEtherDistributionRxQoS1StatsTotalDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.1.1.8
axsEtherDistributionRxQoS2StatsMaxQnum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.1.1.9
axsEtherDistributionRxQoS2StatsLimitQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.1.1.10
axsEtherDistributionRxQoS2StatsTotalOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.1.1.11
axsEtherDistributionRxQoS2StatsTotalOutBytesHigh	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.1.1.12
axsEtherDistributionRxQoS2StatsTotalOutBytesLow	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.1.1.13
axsEtherDistributionRxQoS2StatsTotalDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.1.1.14
axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.2
axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.2.1
axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.2.1.1
axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.2.1.2
axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueQueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.2.1.3
axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.2.1.4
axsEtherDistributionRxQoS1StatsQueueMaxQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.2.1.5
axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.3
axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.3.1
axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.3.1.1
axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.3.1.2

axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueQueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.3.1.3
axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.3.1.4
axsEtherDistributionRxQoS2StatsQueueMaxQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.9.3.1.5
axsToCpuQoS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11
axsToCpuQoSStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.1
axsToCpuQoSStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.1.1
axsToCpuQoSStatsIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.1.1.1
axsToCpuQoSStatsMaxQnum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.1.1.2
axsToCpuQoSStatsLimitQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.1.1.3
axsToCpuQoSStatsTotalOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.1.1.4
axsToCpuQoSStatsTotalOutBytesHigh	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.1.1.5
axsToCpuQoSStatsTotalOutBytesLow	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.1.1.6
axsToCpuQoSStatsTotalDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.1.1.7
axsToCpuQoSStatsQueueTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.2
axsToCpuQoSStatsQueueEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.2.1
axsToCpuQoSStatsQueueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.2.1.1
axsToCpuQoSStatsQueueQueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.2.1.2
axsToCpuQoSStatsQueueQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.2.1.3
axsToCpuQoSStatsQueueMaxQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.2.1.4
axsToCpuQoSStatsQueueDiscardFramesClass1	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.2.1.5
axsToCpuQoSStatsQueueDiscardFramesClass2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.2.1.6
axsToCpuQoSStatsQueueDiscardFramesClass3	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.2.1.7
axsToCpuQoSStatsQueueDiscardFramesClass4	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.2.1.8